

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学習漢字の読み書き、および中学校学習漢字の読みの力を定着させることが課題である。</li> <li>・長文読解問題については、漠然とした理解が得点につながるよう、問題に慣れさせることが必要である。</li> <li>・思考した内容を、相手に伝わるように詳しく丁寧に表現する力、また、問題で指示された形に応じて叙述する力を育てる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に一回の漢字小テストを行うことにより、日常的な漢字の学習の習慣をつけさせる。</li> <li>・副教材を活用して、長文読解演習を繰り返し行う。</li> <li>・説明的な文章および文学的な文章の学習の中に、作文の課題を取り入れ、自分の考えを言葉を尽くして丁寧に表現しようとする習慣をつけさせる。</li> <li>・200字作文の演習を行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識を定着させるための指導を、継続的に行うことが必要である。</li> <li>・発言や発表を通して授業への積極的な参加や自主的な学習ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解にむけて主体的に取り組む活動を行う。また、知識の定着に向け反復学習を行う。</li> <li>・学習の状況を記録し、自らの学びの深まりや変化、気づきを確認できるようにする。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な技能については、段階に応じた継続的な指導が必要である。</li> <li>・数学的な考え方を課題とする生徒が多く、事象を数理的に考える指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日取り組める課題を多くこなし、理解が不十分な部分を繰り返し演習させ、計算力を高めていく。</li> <li>・生徒がイメージしやすい教材を取り入れ、考える時間を増やし、考え方を共有していく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着を図り、観察・実験における結果の推測や予測を考え、科学的な思考力の向上を図ることが必要である。</li> <li>・学習内容の理解を深め、科学的思考やその表現を育成することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストやICTを利用して、基礎的な知識の定着を図る。実験等では、結果の推測や予測を議論し合う活動を取り入れ、科学的な思考を深めるように指導する。</li> <li>・観察・実験の結果を視覚化するなど、結果から考察につなげやすくしていく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞や創作、器楽や歌唱の活動に、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・器楽の演奏に、難しさを感じている。</li> <li>・音楽を形作っている要素とそれらの働きを表す用語や記号についての理解を深めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動においては、表現したいイメージをもたせ、音素材の特徴を生かし、音楽を作るようにする。発表も積極的に行う。</li> <li>・器楽練習では、教え合う時間などを作る。</li> <li>・音楽用語などについては、鑑賞の感想で取り入れるように工夫を促す。自分の感じたことを、友達に伝える機会も増やす。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら調整し、見通しをもって題材に取り組むことのできる理解力を持っている。</li> <li>・題材などの目標は理解しているが、創造活動の喜びや感情表現を豊かにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品づくりだけでなく、ICTの利活用で鑑賞や言語活動を充実させ、心豊かな創造活動ができるようにする。</li> <li>・資料などを通して、目標や内容をあらかじめ理解して取り組み、成果を振り返ることで理解を深める。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育係を中心に生徒が主体的に授業を進めることができている。</li> <li>・保健の授業中に積極的な発言が少なくなってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係を中心に授業を進めることができているので継続して行っていく。</li> <li>・発言する内容について答えやすい問いにし、仲間と話し合えるような雰囲気を作る。</li> </ul>

<p>技 術 家 庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培、箸づくりの学習に積極的に取り組んでいる。箸づくりでは完成度の高いものにさせている。</li> <li>・隔週授業のため生徒によって学習活動が継続しにくい面もみられる。</li> <li>・作業自体は全員着実に進んでおり、全体的に意欲も高い。</li> <li>・幼児の特徴について理解し、コミュニケーションを図る手段としてクッション製作に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の取り組みに対してわかりやすい説明と資料掲示を行って机間指導をする。</li> <li>・学習意欲を継続できる教材を取り入れた学習指導をする。</li> <li>・基礎的な知識と、社会状況、および、その課題を関連させて考えさせる。</li> <li>・創意工夫できる製作物に取り組みさせる。</li> </ul>
<p>外 国 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やり取り」は、基礎的な表現を用いることはできるが、即興で英語を話す力が不十分で、発展的な表現や内容の幅に大きな個人差がある。</li> <li>・「書く・読む」へのつながりでつまづく傾向が見られ、基礎的な知識の習得が必要である。</li> <li>・プリントなどの作業進度において個人差があるので、基礎を定着させる工夫と改善が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の定着を図るために授業プリント・ワークシートを活用する。</li> <li>・スピーチ練習やフリートーク練習など「話すこと」を取り入れた授業を積極的に行い、会話に慣れさせる。</li> <li>・各自の進度や理解度を把握し、基礎を定着させるために個に応じた指導をする。</li> </ul>